

委員会報告

会員開発委員会

理事 勝部 信生
委員長 井上 健一
幹事 日野 友晴

会員開発委員会報告

1. 年度当初の事業項目

2005年度新年賀会
京都会議
4JC スポーツ大会
7月通常総会懇親会
家族会
仮入会員歓迎会
忘年会
新入会員セミナー

2. 年度内に行った事業項目

2005年度新年賀会

日時 1月6日 19:00 ~ 21:00

場所 出雲商工会議所6階 OB参加者66名(合計123名)

京都会議

日時 1月22日 ~ 1月23日

場所 京都国際会議場 参加者40名

4JC スポーツ大会

日時 5月8日

場所 西部体育館、湖陵球場 参加者102名

7月通常総会懇親会

日時 7月16日

場所 武志屋本店 参加者46名

家族会

日時 9月24日

場所 斐伊川河川敷公園 参加者115名(内:家族75名)

仮入会員歓迎会

日時 10月16日

場所 仲野 参加者42名、仮入15名

忘年会

日時 12月3日 18:30 ~ 21:00

場所 ラビタ 参加者70名(内:奥様9名)

新入会員セミナー

第1回

日時 3月9日 19:00～21:00

場所 出雲ネットワークセンター “アイネス” 参加者4名

第2回

日時 10月12日 19:00～21:00

場所 出雲ネットワークセンター “アイネス” 参加者3名

3. まとめ

今年の会員開発委員会メンバーは、仮入会員当初10名でスタートしていましたが、メンバーの様々な都合により、ついには3名の新入会員で取り組むことになりました。

設営系の事業が多い会員開発委員会にとって少人数という大きなハンディを抱えながら、携わる全ての事業を例年どおりに収めなければならず、少数をカバーする工夫や新たな発想が絶えず必要となりました。また、年当初に掲げた「ひとづくり」という委員会のテーマを、委員会活動の中でどのように盛り込んで指導していくかも、スタッフとして重要な役割でした。

「ひとづくり」については、まず、事業毎でキャップを決め、その事業の主旨目的を十分に説明し、担当者としての責任をもたせながら、リーダーであることの意識付けを行うよう展開してまいりました。この辺については少数であることが幸いし、それぞれのメンバーが3回以上のキャップを勤め、様々な場面において経験を積むことができたと思います。

ソフト面では、全2回の新入会員セミナーを開催し、それぞれのスキルアップを図りました。1回目の湯浅啓史先輩からは、“ニュートラルな心”という言葉で、誰もが潜在的な意識や可能性を持ち合わせていると感じ取ってほしいと、理論的にわかりやすくご説明頂きました。

また、2回目の長子淳一先輩からは、「NOと言わない」JCや「貸し借り」の意味、何事にも高い志をもって取り組むことの重要性など、ご自身の経験から具体的にご説明され、JCと仕事の両面に必要で基本的な心構えを学ぶことができました。

そして、事業活動で本年最も多く学んだことは、「おもてなしの心」だったと思います。「おもてなしの心」は、JC活動に限らず、社会で過ごすためにとても大切な「心構え」であり、相手に対する思いやりや自分に対する厳しさを、様々な事業の中で訓練できたのではないのでしょうか。また、全ては自分一人で達成できるものではなく、大勢の方々に支えられて成し得られることを、この一年で習得してくれたものと確信しています。

最後に、今年1年「修練・奉仕・友情」を様々な場面で経験させて頂く機会を与えて下さった青年会議所に、そして、ご指導頂いた大勢の皆さんに感謝したいと思います。

新入会員が2年目以降、素晴らしい活躍をしてくれることを期待しております。メンバーの皆さん本当にお世話になり有難うございました。

青少年委員会

理事 井上 克夫
委員長 岩崎 圭
幹事 松原 裕樹

青少年委員会報告

1. 年度当初の事業項目

二十歳の献血
3月例会行事
第31回ブロックスポーツ大会
青少年健全育成事業
9月例会行事
11月例会行事

2. 年度内に行った事業項目

二十歳の献血

日時 1月9日
会場 ウェルシティ島根
献血者数 合計 77名

第31回ブロックスポーツ大会

日時 5月22日
会場 河南中学校体育館、平成スポーツ公園、真幸が丘公園、湖陵総合運動公園
島根ワイナリー(懇親会)

参加人数 合計 279名

青少年健全育成事業「いずものいいとこ 再発見！」

日時 5月～10月(情報回収、地図作成)
11月～12月(活用書作成・配布)

内容 小学生の子どもたちの視点からみた「いずものいいとこ」を調査・発見した場所を情報提供していただき、ホームページに新出雲市の地図として公開

情報提供数 366枚(出雲市内小学生)

後援 出雲市教育委員会

9月例会行事

日時 9月16日
会場 出雲商工会館6F
演題 「次世代へ残さなければならない道徳の心」
講師 菅野 覚明氏

11月例会行事 「卒業生大いに語る」

日時 11月16日
会場 出雲商工会館6F

3.まとめ

出雲市、平田市、大社町、多伎町、佐田町、湖陵町が合併し新出雲市とスタートした本年、出雲青年会議所の青少年委員会として何をしたらよいのか、何をしなければならないのか、何が求められているのか、1年という単年度の短い時間でじっくりと長い長い時間をかけ真剣に考えることが出来ました。人は時に瞑想いえいえ迷走していると言いますが、このじっくりと考える時間から青少年健全育成事業「いずものいいとこ 再発見！」が生まれました。

子どもたちの将来を見据え、「自分たちが住んでいる町に夢を抱き、誇り・愛着をもってもらいたい」。もっともっと出雲市の魅力を知り愛して欲しい。県内外の人々へ自慢ができる人間へと成長して欲しい。このような思いから始まり、まずは自分たちの住んでいる町の良さを知ることが第一歩であると考えました。小学生から提供された情報を整理し、マッピングする。これまでの青少年健全育成事業とは一線を画す内容となり、パソコンと向き合う日々が続きましたが、完成しホームページ上に公開できた時は感激しました。これからの出雲を担う子どもたちが自分たちの生活する地域を知り、地域を魅力に感じることへの一助となる事業が市内小学校の協力と教育委員会の後援で実現し、表現できたことに感謝しております。今後は本事業主旨に賛同いただきました出雲市へと事業を引き渡すことになり、来年以降もよりたくさんの「いずものいいとこ」が子どもたちの間で共有出来るようになります。

出雲青年会議所主管でのブロックスポーツ大会の担当委員会として実行委員会の開催、隠岐、松江、大田、江津でのPR活動。平田青年会議所、出雲大社青年会議所の青少年系委員会での懇談会から実現した「IZUMOこころのうた」への3JC共同後援など実りのある充実した1年となりました。

最後になりましたが、委員長に指名していただきました梶野理事長をはじめ、事業に参加・協力していただきましたメンバーの皆様、支えていただきました青少年委員会のスタッフ、メンバーのお陰をもちまして委員会活動を終えることが出来ましたことを本当に感謝いたしております。ありがとうございました。

まちづくり委員会

理事 清原 修
委員長 本常 徹
幹事 山根 茂・北野 謙治

まちづくり委員会報告

1. 年度当初の事業項目

例会行事（2月例会、4月例会、6月例会）
プロ長公式訪問例会（島根大田）
2005いずもオロチまつり
広域的なまちづくり事業
6JC 経済文化交流会

2. 年度内に行った事業項目

2月例会行事

「いづも圏域3JC理事長会談～合併目前! 3JCこれからどうなる? どう動く?～」

日 時 2005年2月16日 20:30～21:35

場 所 出雲商工会館6階 大ホール

パネリスト 平田青年会議所理事長 山口 弥君

出雲大社青年会議所理事長 山崎充史君

出雲青年会議所理事長 梅野直宏君

コーディネーター 出雲青年会議所副理事長 小玉友之君

出席者 72名

4月例会行事「委員会対抗ボウリング大会」

日 時 2005年4月16日 21:30～22:24

場 所 出雲会館 センターボウル

参加者 45名

6月例会行事「自然を活かしたまちづくり～海光り、ひと輝くまちを目指して～」

日 時 2005年6月16日 20:40～21:40

場 所 出雲商工会館6階大ホール

講 師 伊藤 裕氏(旧多伎町長)

出席者 42名

ブロック会長公式訪問例会(島根大田)

日 時 2005年3月17日 18:30～22:45

場 所 例会:サンレディー大田 懇親会:大田パストラル

参加者 33名

2005いづもオロチまつり

日 時 2005年8月7日～8日

場 所 出雲中心市街地・武志町斐伊川河川敷公園

踊りパレード参加人数 45名

広域的なまちづくり事業(神話の國フェスティバル)

日 時 2005年11月19日 9:30～15:30

場 所 大社文化プレイス うらら館

内 容 パネルディスカッション「神話を活かしたまちづくり」

パネリスト 田尻隆介氏(高千穂町役場商工観光課長)

本名孝至氏(淡路 伊弉諾神宮 宮司)

常松 栄氏(2005いづもオロチまつり実行委員長)

コーディネーター 藤岡大拙氏

(島根県文化振興財団理事長・NPO法人出雲学研究所理事長)

神楽上演会 宮崎県高千穂町・岩戸野方野神楽保存会

大社町・大土地神楽保存会神楽方

来場者 約300名 出雲JC参加者 34名

6JC経済文化交流会 松江会議

日 時 2005年11月29日 19:00 ~ 22:00
場 所 ニューアーバンホテル松江
演 題 神話に学ぶまちづくり
講 師 北國 恵久氏
出席者 15名

3. その他の事業項目

出雲ブランド“食の祭典”～地産地消、そして全国へ～ イベント協力

日 時 2005年3月26日 ~ 27日 10:00 ~ 17:00
場 所 出雲ドーム
参加者 30名

3 J C 担当者会議

参加団体 平田青年会議所、 出雲大社青年会議所、 出雲青年会議所
まちづくり系委員会
会 議 計5回実施
事 業 日本青年会議所“愛”地球博参画事業
愛・地球博 3 J C 合同企画「神話の国出雲 P R」
場 所 2005年日本国際博覧会（愛・地球博）
LOM参加者 25名

4. 新交流都市 I ZUMO 構想3年目を終えて

真の地域価値と誇りをもてる新しい私たちのまちを創造していこうという新交流都市 I ZUMO 構想がスタートして3年。 出雲青年会議所はまちづくりの活動を通じて、その価値と誇りを“神話”と捉えてさまざまな活動をおこなってきました。今年はいくまでの我々の活動を、出雲圏域のみならずより多くの方々に知っていただき、「神話 = 出雲ブランド」について関心を高め、そして地域のかげがえのない価値と誇りとして“神話”がこの新しい出雲市全体に定着することを念頭に、事業を展開してまいりました。

いずもオロチまつりでは神話の根付いたまちのイメージを多くの方々に抱いてもらうため、昨年度の新交流推進委員会が提言した“神話を活かしたまちづくりの具体案”をティッシュに載せ発信しました。また3 J C 合同企画となった“愛”地球博参画事業は、全国の方々に神話のふるさと出雲への関心を高めることに繋がったと考えております。そして出雲市との共同開催となった“神話の国フェスティバル”においては、日本三大神話のまちとしての出雲ブランドの未来に向けての飛躍と、神話のまちの住民としての意識を強く持つことの大切さを感じていただくことができたと考えております。この1年の活動を通じて、地域の価値としての神話を知り、それを誇りとし、住民一人ひとりが主体的に新たな出雲のまちづくりを考え、行動するきっかけとなったのではないかと感じております。

新交流都市 I ZUMO 構想の4年目を迎える2006年度は、是非これまでの経験とノウハウを最大限発揮し、このまちの人々一人ひとりが“神話”を誇りにおおい、自らがこのまちのために何か成し得ようというマインドを抱いてもらえるようなシステムの構築を図っていただきたいと思っております。それが真の日本一の神話のまち実現に繋がるのではないのでしょうか。

最後に、この1年お世話になりましたすべての関係者の方々、そして平田、出雲大社そして出雲の全メンバーの皆様にご心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

経営開発委員会

理事 内田 政智
委員長 持田 隆治
幹事 佐藤 大樹

経営開発委員会報告

1. 年度当初の事業項目

LDプログラム研修
経営セミナー
例会行事（5月、8月）
仮入会員セミナー

2. 年度内に行った事業項目

LDプログラム研修「ロバート議事法」
日時 3月24日 19:30～21:26
場所 いずもネットワークセンター“アイネス” 参加者35名

5月例会行事「個人情報保護法の施行とその対応について」

日時 5月16日 20:40～21:35
場所 出雲商工会議所6F 参加者49名
講師 NPO法人経営応援隊さんいん 事務局長 相田範夫氏

8月例会行事「新しい産業づくりへの提案」

日時 8月16日 20:30～21:45
場所 出雲商工会議所6F 参加者43名
講師 小林 啓己氏

経営セミナー「わかる！ 決算書」

日時 8月27日 13:30～16:50
場所 いずもネットワークセンター“アイネス” 参加者36名
講師 重本泰徳先輩

仮入会員セミナー「七転び八起き～一人ひとりの挑戦・努力～」

日時 10月21日 19:30～21:27
場所 今市コミュニティセンター 仮入会員14名 メンバー36名
講師 常松 栄先輩

LDプログラム研修「マネージメントゲーム」

日時 11月6日 9:00～18:30
場所 いずもネットワークセンター“アイネス” 参加者26名

3. まとめ

本年、経営開発委員会は、「経営」をキーワードに、LDプログラム・例会行事・経営セミナーと皆様にすぐに活用していただけるものを事業目的に活動を行ってきました。

LDプログラムにおきましては、実際に何年も開催されていないプログラムに挑戦し、内容を一から組み立て委員会メンバーで考えながらプログラムを構築していきました。

そのため、作業委員会が多く委員会メンバーには、1年を通し、大変忙しい委員会だったと思います。その結果として、2000年にひとつくり委員会によって制作されましたLDプログラム研修マニュアル(PIP・ディベート・マッピング)になかった「ロバート議事法」と「マネージメントゲーム」のマニュアルを作成し、LOMの財産として保存することができました。

最後に、1年間を通して皆様の役に立つことをと考へ行った事業は、委員会メンバーが一番身に付きました。今後のLDに繋がればと思います。

総務広報委員会

理事 石橋 慶一
委員長 藤江 周弘
幹事 増原 一憲

総務広報委員会報告

1. 年度当初の事業項目

次年度委員長・幹事研修会
記者クラブ訪問
ホームページの更新
初詣
1月例会行事
3月例会行事
対外版の発行
卒業式

2. 年度内に行った事業項目

次年度委員長・幹事研修会
日時 2004年10月19日 19:30 ~ 22:10
場所 いずもネットワークセンター “アイネス”
記者クラブ訪問
期間 2004年12月 ~ 2005年12月
ホームページ更新
期間 2005年1月1日 ~ 2005年12月
初詣

- 日 時 1月1日 8:30 ~ 10:00
場 所 日吉神社
- 1月例会行事「委員長大いに語る」
- 日 時 1月16日 21:05 ~ 21:35
場 所 出雲商工会館 6 F 大ホール
- 3月例会行事 「 日本青年会議所中国地区協議会 会長 訪問」
- 日 時 3月16日 20:30 ~ 21:35
場 所 出雲商工会館 6 F 大ホール
- 対外版の発行
- 日 時 10月30日
- 卒業式
- 日 時 12月3日 17:20 ~ 18:15
場 所 ラピタウエディングパレス 天雅の間

3 . 年度当初の業務項目

- 年賀状の作成・送付
- 事業報告書の作成
- 個人用備品の購入
- 諸会議の備品管理
- 諸会議の運営
- ペーパーレス会議の促進
- パソコンデータの管理
- ネットワークセンターの備品管理
- ネットワークセンターの管理
- 慶弔対応
- 会員原簿の見直し

4 . 年度内に行なった業務項目

- 年賀状の作成・送付
- 事業報告書の作成
- 個人用備品の購入
- 諸会議の備品管理
- 諸会議の運営
- ペーパーレス会議の促進
- パソコンデータの管理
- ネットワークセンターの備品管理
- ネットワークセンターの管理
- I F A X の管理
- 慶弔対応
- 会員原簿の見直し

5. まとめ

本年度の総務広報委員会は、他の委員会と比べスタートが早く、昨年10月の次年度委員長・幹事研修会を皮切りに本年度の卒業式まで、1年を上回る事業を行ってまいりました。総務広報委員会としてLOMの運営に果たす役割は大きく、メンバーがより活動しやすい環境を作るための日常業務をこなしていくことの大切さ、難しさを深く認識させられました。また広報活動において、記者クラブ訪問、対外版の発行、ホームページの更新を頻繁にすることなど、出雲青年会議所をアピールすることの重要性を感じました。

最後に、メンバーの皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びすると共に、委員会をはじめとするメンバーの皆様のご協力により本年度の委員会活動を無事に終えさせていただきましたことに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。